

小鹿野高等学校

山村留学生とその保護者から寄せられた声

令和2年度

おがの留学

平成24年度から始まった山村留学ですが、これまでに多くの卒業生を送り出しました。

自然の中で、適度に親元を離れて過ごす山村生活・集団生活を終えた生徒さんから、山村留学について感想を聞いてみました。

また、現在山村留学生として送り出している保護者の方から、現在の感想をお聞きしました。



卒業生の感想

私は、2年半の間、親元を離れて、寮生活をしました。初めは自分ひとりでは出来ないことが多く大変でしたが、今では当たり前のように出来るようになりました。例えば、自分の体は自分でケアしなくてはならないことや、自分で起きなくてはならないこと、そして洗濯を自分でしなくてはならないことです。初めは嫌でしたが、同じ寮生と仲良くなり、毎日がお泊り会みたいなきがして、嫌だった気持ちがなくなり楽しかったです。

集団生活による学びもあった

一緒に生活していた仲間がいて試合の時はみんなで起こし合いをしました。夜遅くまでみんなで自主練をしました。一人ではできないことも沢山ありましたが、みんながいたから出来たこといっぱいありました。

いまの自分

私は大学で野球を続け、寮生活をしています。高校で色々学んできたので大学での寮生活は苦労していません。高校でやってきたことを、今度は、違う仲間たちとやっていきたいです。

本当に小鹿野高校に入ってよかったと思います。3年間ありがとうございました。



セツブンソウ（日本有数の規模を誇る小鹿野町の節分草）

お問い合わせ先

〒368-0105
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野 962-1
TEL:0494-75-0205
FAX:0494-72-1001

Web サイト:
<https://ogano-h.spec.ed.jp/>

最後に

地方創生の流れを汲み、いまや山村留学や島留学は、全国的に注目される高校選択の一つとなっています。普段は味わえない本物の自然や文化に触れ、地域ならではの魅力を肌で感じ、多感な高校生活を過ごすことも、自分らしい高校選択の一つです。

ぜひ、高校選択の一つとして、御検討ください。

なお、山村留学に関する説明会は、年5回開催している本校主催の学校説明会の後で行われます。質問等がございましたら、随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

保護者の感想

小学校・中学校時代は地域の学校に通い、窮屈感を抱きながら学校生活を送っていたようですが、自然に囲まれた雰囲気の中で高校生活を送りたいと本人からの希望があり、そこから高校探しが始まりました。そういった中で出会ったのが、埼玉県内で唯一「山村留学制度」を導入している、「小鹿野高校」でした。

山村留学を知って

最初、野球部の生徒を対象としている制度のような印象を受けました。そこで、学校説明会の時に質問させていただくと、部活動に加入して毎日継続して活動することが原則ではあるが野球部と限定してはならず、運動部でも文化部でもかまわないという返答をいただきました。そのあたりから、「小鹿野高校」への入学の希望を固めていったようです。

いまのお子様の生活

入学後はボランティア部に入部し、生徒会にも立候補し、部活動に生徒会活動にと充実した学校生活を送っているようです。

宿舎での生活も、親子共々最初は不安でしたが、先輩も親切な方ばかりで、ぐく親元を離れた生活にも慣れていったようです。

勉強面も少人数制のクラス編成で、教師と生徒の距離が近く親身に指導していただき、中学時代では苦手意識から取り組むことができなかった教科にも、積極的に授業に臨んでいるようで中学時代とは違った結果も出すことができています。

「小鹿野高校」の人情味あふれる雰囲気に触れ、生活面でも勉強面でも「山村留学」は本人にとって、いい方向に作用していると感じており、この学校に出会えたことに本当に感謝しております。